

令和4年度第2回平塚市文化財保護委員会 会議録

日 時

令和4年11月30日(水)

午前10時から11時まで

場 所

平塚市役所720会議室

出席者 11人〔傍聴人 0人〕

委 員：近藤委員長、吉田(英)副委員長、吉田(鋼)委員、薄井委員、兼平委員、丸島委員

事務局：田中課長、菅沼課長代理、中嶋課長代理、五十嵐主査、柳川主事

平塚市文化財保護委員会委員委嘱式

(事務局) 挨拶

(事務局) 資料確認

1 報告事項

平塚市内文化財の調査について(資料1) 【公 開】

(近藤委員長)

本日は、報告事項が1件、審議事項が1件の議題がある。審議事項は非公開になる。それでは、はじめに報告事項の平塚市内文化財の調査について事務局より説明願いたい。

【資料1に基づき、五十嵐主査・吉田副委員長より説明】

令和4年10月13日に実施した「伝・霧降の滝図」と「涅槃図」2点の絵画調査の報告について

(吉田副委員長)

「伝・霧降の滝図」は、「キリフリ」と裏に記入があるだけで表にはないため「伝」としている。

紙本で主に墨と緑青朱の3色遣いで薄塗で描かれており、状態は良い。画面右上に不動明王が描かれているが坐像であり、大山寺の滝を描いている可能性も考えられる。プロの絵師によるが、仏画の心得はない絵師と判断できる。

「涅槃図」は、大きさとしては小さく、版本で一部彩色してある。版本は大量につくられたことから江戸時代は個人的な追悼を用途とした涅槃図が使われていたのではないかと考えられる。登場人物のところに名札がついており、参考資料としては有効と考えられる。いずれの作品も博物館に寄託し、保管するのがよいのではないかと。

(近藤委員長)

資料1 絵画調査報告について説明があった。この件に関して確認をしたいこと、質問、

提案、提言はあるか。

(丸島委員)

霧降の来歴は分かるか。また、同じ所有者か。

(吉田副委員長)

来歴は分からない。所有者は同じ方で、特定されてはいないが仏画以外にも文人画も所有している。

(近藤委員長)

江戸期のものか。

(吉田副委員長)

江戸中期以降だと考えられる。

(薄井委員)

霧降の絵は他にもあるか。

(吉田副委員長)

他にはない。

(薄井委員)

不動明王は「大山型」で頂蓮か。

(吉田副委員長)

頂蓮と考えられる。

(薄井委員)

それであれば大山参りで良いと思う。霧降の滝は茨城県のものか。

(吉田副委員長)

平塚の吉沢にある。付近にある不動明王像は立像である。

(薄井委員)

滝の近くの不動は立像が多い。これは坐像であることから大山寺を意識していると考えられる。

(吉田副委員長)

人物は描き慣れているが、仏画はあまり描き慣れていないと考えられる。仏画の心得はない。

(近藤委員長)

各委員から説明や質問があったが、事務局は今後どのように対応していくのか。

(五十嵐主査)

所有者に御家族と今後の保管等について話し合ってもらおうよう伝えた。進捗を文化財保護委員会にて報告する予定。

(近藤委員長)

この件は、引き続き事務局で対応するようお願いしたい。

(五十嵐主査)

対応する。

2 審議事項

令和4年度の文化財指定等について(資料2) 【非公開】

3 その他 【公開】

(近藤委員長)

その他で意見があれば発言を願う。事務局、あるいは先生方から用意があればお願いしたい。

(近藤委員長)

文化財の状況や管理などをしっかり考えるべき段階にきており、文化財のパトロールを行う必要がある。指定するだけでなく、体制としてしっかり確認すべきである。

(丸島委員)

指定文化財の再調査や所蔵の確認をしっかりと行うべきだ。

(薄井委員)

賛同する。

(吉田副委員長)

美術史においておさなりにされてきた江戸時代の作品が見直されてきている。市博で神田宗庭筆の絵画を見たが、作品の状態は良いものの、保管状況が悪いと感じた。パトロールを兼ねて展示をするなどした方がよい。また、災害等に備えた保管を考えるべき。

(近藤委員長)

その他に意見等が無いようであれば報告・審議は以上とする。

(五十嵐主査)

本日は貴重な御意見をありがとうございました。課題は持ち帰り検討する。また、次回の会議は2月13日の週で日程調整したい。

以上